

山行報告書

神戸勤労者山岳会

1. 参加者

CL 西、吹留、野田、坂口

2. 山城／ルート

比良/平バス（平9：18着）停へ→権現山→子女郎池→蓬莱山→打見山→ロープウェイ
で下山→（バス）志賀駅

3. 交通手段

電車・バス

4. 行動記録

2月16日（日）JR三宮駅7：20発→JR大阪7：45発レジャー号にて堅田駅8：35
着→バス（堅田8：45発）にて平バス（平9：18着）停へ
→11：30 権現山→12：20 ホッケ山 → 13：20 子女郎池 昼食（ツェルト使用）
14：00 出発→蓬莱山を目指すが・・・

リフトが動いていないことに気づき、問い合わせをしたら、強風の為、スキー場は本
日営業していない事がわかる。

子女郎峠→17：00 一般道へ 17：20 蓬莱駅着

5. 山行中の問題点・事故に繋がる要因

a) 予定のルート・日程で行動出来たか？

子女郎峠より少し進んだところで、リフトが運休であることがわかり、最も短時間で
下山できる「蓬莱」への沢筋ルートに変更し、下山することとした。

b) 事故に繋がりそうな要因（ヒヤリハット）が発生したか？

なし

c) パーティーで、山行中の事故に繋がる要因につき、山行後検討したか？

なし

6. その他、ルートに関する情報・気がついた事など記す

- ・「リフトの運行」について、全く認識が甘かった。稜線に出て風が強いのは感じたが
「リフトの運休」については全く予想していなかった。（後から思えば人が少なかっ
たわけだ。）「リフト」などを利用する場合は運行状況について確認しておくべきで
あった。
- ・リフトの運休が子女郎峠を少し進んだところで確認されたので、昭文社の地図で下
山ルートを検討。打見山からクロトノハゲからキタダカ道のルートも考えたが時間
がかかる事と、道迷いの記録を読んでいたため、結局、最短時間で下山できる子女
郎谷を選択した。

- ・しっかりしたルートがなかったが、トレースもなく、雪が腐っている箇所もあり、少しルートを外れると谷に入ってしまう危険性があった。GPSで確認しながら進んだが、微妙なルートどりが難しかった。1箇所、登り返しをしたが、雪の状態が悪く大変な思いをした。装備にお助け紐や、シュリングを入れておくべきだった。
- ・途中からトレースとテープが発見され、以降は快適に真っ白い雪の上を歩けた。
- ・平から蓬莱山のルートは、びわ湖が一望でき、開放感のある展望のいい山である。
- ・子女郎峠に行く途中、1箇所ルートを間違えた。すぐに訂正したが、山の概念把握が弱かった。
- ・リフトが運休というアクシデントに見舞われた事で、雪山の事前情報収集の不備やルートについての幅広い事前調査の必要性、装備についての再検討など学びの多い山行となった。
- ・メンバーとお天気に恵まれ、真っ白い雪の上にトレースをつけていく楽しい雪山となった。ありがとうございました。

報告者氏名：西 2014年2月25日

